

誘導施策の進捗状況について

(体系表の詳細については、資料 4 - 2 を参照)

本プランでは、「都市機能及び人口密度を維持・確保するための誘導施策」を実施することとしており、プランの着実な推進を図るため、国の示す「コンパクトシティの形成に関する支援策」の8分野を参考に、庁内各課の事業を「本プランに直接位置づけた施策・事業」と「関連事業（本プランに直接位置づけていないが、連携することで相乗効果が期待される事業）」に分類し、進捗状況の把握を行うこととしている。

1. 事業の実施状況の概況

令和元年8月に庁内に照会した結果、「本プランに直接位置づけた施策・事業」と「関連事業」の8分野ごとの事業数、令和元年度拡充事業数及び30年度までに完了した事業数を整理すると、右の表のとおりとなった。（※「拡充事業」とは、令和元年度予算で拡充となった事業である。）

(1) 本プランに直接位置づけた施策・事業

○「都市再生・中心市街地活性化」分野の2事業が追加となり、37事業のうち、2事業が完了し、残りの35事業について、引き続き、取り組むこととしている。

○また、35事業のうち、「中心市街地活性化推進事業」などの2事業については、今年度拡充して取り組むこととしている。

(2) 関連事業

○49事業のうち、1事業が完了し、残りの48事業について、引き続き、取り組むこととしている。

○また、48事業のうち、「中小企業資金融資事業」などの12事業については、今年度拡充して取り組むこととしている。

2. 本プランに直接位置づけた施策・事業の進捗状況（H30年度の評価）

今年度から、「本プランに直接位置づけた施策・事業」の進捗状況を「A：計画（予定）どおり実施できた。」「B：一部計画（予定）どおり実施できた。」「C：計画（予定）どおり実施できなかった。」の3段階で、各事業課により評価を行うこととした。

○37事業のうち、新規や完了など、評価できない事業を除く、34事業のうち、9割以上の31事業で「A：計画（予定）どおり実施できた。」との評価であり、「本プランに直接位置づけた施策・事業」については、順調に取組が進んでいると考えられる。

No	分野	本プランに直接位置づけた施策・事業						関連事業		
		事業数	H30年度評価※ (評価した事業数：34)			事業数	H30 まで 完了	R元年 拡充		
			H30 まで 完了	R元年 拡充	A (計画どおり)				B (一部実施)	C (実施なし)
1	都市再生・中心市街地活性化	21 (追加1) (新規1)	1	2	16	1	1	9	0	3
2	健康・医療・福祉、子育て支援	3	1	0	3	0	0	17	0	4
3	公共施設再編	9	0	0	8	1	0	—	—	—
4	住宅政策	3	0	0	3	0	0	3	0	0
5	学校・教育	1	0	0	1	0	0	7	1	2
6	都市農業等	—	—	—	—	—	—	5	0	2
7	防災	—	—	—	—	—	—	8	0	1
小計		37	2	2	31 (91%)	2 (6%)	1 (3%)	49	1	12
8	地域公共交通	・プラン記載の「公共交通に関する施策・事業」が該当するが、『鹿児島市公共交通ビジョン』の推進事業と同一であるため、進捗管理は、「鹿児島市公共交通ビジョン推進会議」で行う。								

※H30年度評価区分 「A：計画（予定）どおり実施できた。」 「B：一部計画（予定）どおり実施できた。」 「C：計画（予定）どおり実施できなかった。」

3. 今後の取組

○上記の施策等を推進することにより、最終的に人口密度の維持につながると考えることから、今後も、関係課と連携し、誘導施策に取り組むとともにその進捗把握に努めていく。

○また、本プランのさらなる推進を図るため、各事業の実施要件に居住誘導区域や都市機能誘導区域内であることを要件として盛り込むなど、様々な連携手法について関係課と協力しながら、検討していく。